

## 第36回大崎町文化祭を開催！

11月3日（火）、大崎中央公民館において第36回文化祭が開催されました。オープニングでは、野方神舞保存会による薙刀（なぎなた）舞が披露され、太極拳や大正琴、コーラスや日本舞踊など様々な舞台発表が行われ、多くの方々に来場いただきました。

公民館の会議室では、地域住民の方々の芸術作品の発表の場として、生花、陶芸のほか、町内の児童生徒の絵画や書道などが展示され、作品を前に記念写真を撮ったり、一つ一つ立ち止まっては作品にじっくりと見入っていました。

秋晴れのもと、芸術と文化の香を満喫した一日になりました。



## 大崎救急分駐所地鎮祭！

11月11日（水）井俣地内において、大崎救急分駐所起工式並びに安全祈願祭が関係者多数参加の中、執り行われました。

これは、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により、町民待望の救急分駐所を建設するもので、平成22年4月1日の稼働を目指しています。

本町においても、高齢者の身体能力低下により事故や病気が増えることが考えられます。稼働後の分駐所では、救急車1台（職員9名による24時間体制）により、命の地域格差をなくす、歴史的な1歩となり、安心安全な日常生活が期待できます。

分駐所から大崎中心地まで4分30秒（4分間短縮）で到着できることになり、全国の平均を大きく上回ることになります。



## 戸籍事務が電算化！



本町の戸籍事務が電算化され、11月9日（月）に稼働式が行われました。

電算化は、住民窓口サービスの向上と事務の効率化を図ることを目的としたもので、書式が『縦書き』から『横書き』になり、記載内容も項目化され、分かりやすくなりました。

これまでの戸籍は、タイプライター等で記載していたため、出生や婚姻などの届出がなされてから戸籍謄本等の交付まで4～5日かかることもありましたが、電算化により、この時間が短縮されます。